

# すわみつえ通信

No.356 2025年4月7日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

## 2025新年度スタート

## 参院選に向けて後援会の皆さんと気持ちひとつに

4月5日(土)午前中、鴻巣市日本共産党後援会の世話人会議に参加しました。竹田えつ子議員とともに市議会議員として、ご挨拶させていただきました。

市役所職員は4月1日付け人事異動により新体制がスタートしたこと、また、市議会は5月26日に臨時議会開催が予定され、議長・副議長などの役職交代も予定されることを報告しました。

世話人会議で「宣伝カーを廻している」「ポスターを張り替えた」「お花見で和気あいあい」「教育の学習会を計画」など、各地域での取り組みが報告され、交流をしました。7月の参院選で日本共産党躍進のため、後援会の皆さんと気持ちひとつに頑張ろうと、勇気が出る世話人会でした。

議会の一般質問の時間は、コロナ下で75分から60分に短縮されてきましたが、新年度から75分に戻すよう求めています。



## 伊藤岳参院議員の国会報告

4月5日(土)午後は、鴻巣・北本・伊奈・桶川・上尾の日本共産党の会議が開催され、伊藤岳参院議員が駆け付け、国会報告がされました。

伊藤岳氏は、参院選までちょうど90日となったこと、5月の連休明けには最初の選挙世論調査が発表されることから、4月の活動が大事だと強調されました。そのうえで、この間の国会では、高額療養費引上げを「凍結」させてきたように、国民の声が政治を動かしていること。伊藤岳参院議員は、「スキルス胃がん患者家族会」の轟ひろみさんから要請を受け、国会で論戦をしてきたことを報告しました。伊藤岳議員は5年半の国会活動で180回の質問は断トツであり、「命をつなぐ」をテーマに「過労自死」「マイナ保険証」に取り組んできたこと。

命を削るような政治が行われる中で、日本共産党の議席が絶対に必要だと改めて感じた1日でした。



## コウノトリのヒナちゃん

天空の里でコウノトリのヒナが2羽誕生したと発表されました。空(雄)・花(雌)の2羽が交代で抱卵していた4つの卵が無精卵であったため、3月28日に多摩動物公園から有精卵3個を譲り受け、3月29日に無事ヒナ2羽誕生しました。

ところが4月2日に1羽が死亡していることが確認されました。残った1羽と1個の今後が気になります。



鴻巣市ホームページから

【俳句コーナー】  
春愁やトランプ関税世界不穏  
瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



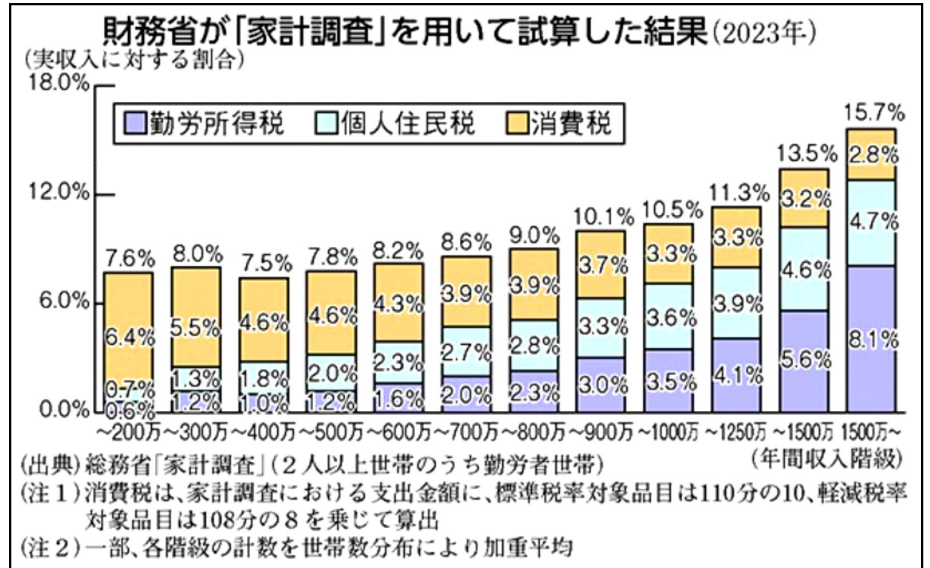
## 消費税 税の公平性崩す 衆院財務金融委員会 田村智子委員長 財務省推計で浮き彫り

財務省は4月4日の衆院財務金融委員会で、日本共産党の田村智子委員長の求めに応じ、総務省「家計調査」に基づき所得階層別の税負担率について推計した結果を示しました。田村氏が予算委員会などで示した、消費税が逆進性によって税負担全体の累進性を失わせ、中間層を含め重い負担となっている実態が改めて浮き彫りになりました。

財務省の推計によると、年収200万円以下では、所得税0・6％で消費税は6・4％となるなど、年収900万円以下の世帯までは所得税より消費税の負担率が上回っています。税全体（所得税、住民税、消費税）の年収に占める負担率は、200万円以下の層から800万円まで7・6～9・0％で推移し、累進性が失われていることが示されています。

田村氏は、共産党が全国で行っている要求アンケートで集まった「何もかもが高い」「利益を上げるために価格を上げたいができない」などの市民や商店の声を紹介。4月以降食料品がさらに値上がり、低所得者ほど影響が強いと指摘しました。財務省の税負担率の推計でも「消費税の逆進性により、財務省が掲げる税の公平性が崩れている」と批判しました。

加藤勝信財務相は「低所得者の受益も含めた試算をしないと何とも言えない」と答弁。田村氏は「低所得者に手厚い社会保障給付をするのは当たり前だ。国民にとって消費税負担がどれだけのものか、財務省は関心を持つべきだ」と厳しく主張しました。【しんぶん赤旗 4月5日付】



## 韓国大統領の罷免に思う

世の中にはたくさんの種類の「力」がある。その中で厄介

と思う力が「権力」だ。体力や筋力は自分で育てられるが、権力は簡単には手に入らない。しかも目標達成のために権力が必要と考える人は、ともすれば権力獲得が手段ではなく、目的になってしまう。どれだけ権力を持っているかで人間の価値が決まると考えてしまうのかもしれない。そんな人が権力を手にすると乱用される恐れがある。だから人類は権力に歯止めをかける仕組みを考えてきた◆その一つが国家権力に制限をかける憲法だ。さまざまな政策が憲法に違反していないかを私たちはチェックできる。憲法違反と思えば政府に抵抗することもできる◆この典型的な事例が韓国の憲法裁判所がきのう下した判断である。昨年12月の「非常戒厳」宣言を巡り弾劾訴追された尹錫悦(ユンソンニョル)大統領の罷免を決定した。「非常戒厳」を権力の乱用とした司法判断はその通りだろう。一方で対立が深まり、国民を分断するような状況は何か悲しい◆人が複数集まれば、ささいなことでも争いの芽が生まれる。それを収める手段の一つが権力でもある。正しく使えば弱い立場にある人を支えることもできる◆真の権力とはきっと、人々に勇気と希望を与える力。60日以内に行われる大統領選で韓国の有権者がどんな人に権力を託すのか注目したい。【佐賀新聞 4月5日付 コラム「有明抄」】